

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)旭化成グループ厚木新工場	階数	地上2F
建設地	厚木市棚沢221	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	40人
気候区分		年間使用時間	2,500時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2012年6月15日
敷地面積	28,763 m ²	作成者	安藤建設株式会社
建築面積	5,548 m ²	確認日	2012年6月15日
延床面積	9,638 m ²	確認者	安藤建設株式会社

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
参照値: 100%
建築物の取組み: 74%
上記+ 以外の: 74%
上記+: 74%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.8**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.5**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> 外壁面の窓と作業室のトップライトで採光を確保し、昼間の照明使用率を低減する。 太陽光発電を屋根に設置できるよう荷重を考慮 		・特に無し
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・内装はすべてF とする	<ul style="list-style-type: none"> 事務室天井高さを2.84mに設定 事務室のスパンも将来作業所として使用できる床荷重、階高を確保。 喫煙室の設置、自販機用置場の設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑化率20%を確保。 屋上緑化の採用。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> 屋根への太陽光発電パネル設置を想定して屋根の構造を設定。 照明の高効率化による消費エネルギー低減 	<ul style="list-style-type: none"> 躯体と仕上げが容易に分別できる計画としている。 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場、車輛待機場所などを確保し、周辺の交通に支障を生じさせない計画としている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される